

地域公共交通確保維持改善事業（新モビリティサービス推進事業）・事業評価総括表

令和6年2月16日

中国運輸局

評価対象事業名：地域交通データ化推進事業

①補助事業者	②事業概要	補助事業者における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		③事業実施の適切性	④目標・効果の達成状況	⑤事業の今後の改善点	評価結果		
いわくにバス株式会社	<p>当社は2016年度より株式会社タウンクリエーション（広島市）の提供するバスロケーションシステム「バスイット」を使用している。2019年度より、Google MapにGTFS-RT情報を提供しているが、その他には提供を行っていない。そこで、本事業を用いて、経路検索等の情報利用者など他者にも情報提供できる機能の追加を企図し、予定通り達成することができた。</p>	A	<p>インターネット上で自由にダウンロードできるようになり、経路検索等の情報利用者等に提供することができた。また、自社で契約中のダイヤ編成サービスソフトにおいても、簡易に情報を受け渡しができるようになり、業務の効率性向上につながった。</p>	A	<p>GTFSデータでほしい、という経路検索サービス会社からの要望に対応することができた。</p> <p>提供することはできたが、もともとのGTFSデータが不十分（注記）で、経路検索サービス会社からは指摘を受けている。GTFS情報の作成環境の改善が必要と考えており、今後、国等の助成事業があれば活用して対応をしていきたい。</p> <p>注記：例えば運行日を定義する「calendar」について、バスロケーションシステム上は「表示する/しない」だけの設定なのでGTFS上では分けられておらず、わかりにくいとの指摘を受けており、結果的に従前どおりのPDFの時刻表を補助資料として提供している。</p>	<p>【評価できる点】 データ化された交通情報が一般の利用者にも広く提供されたことなど、自己評価のとおり、事業はおおむね適切に実施されている。</p> <p>【期待する取組】 今回の事業実施により明らかになった課題について、関係者間で検証経た上で、今後さらなる利便性の向上に資する取組に期待する。</p>	